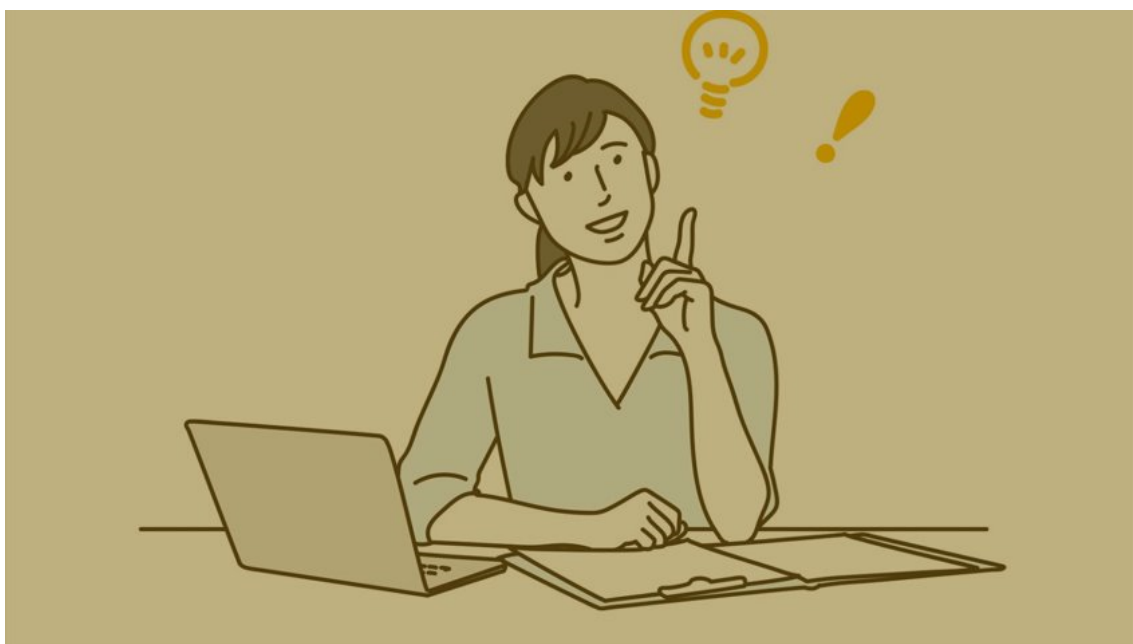


2022年12月6日  
報道関係者各位  
株式会社地域新聞社

「書く」を仕事にしたい人へ 現役編集者が教えるライティングのコツ

### 地域新聞社主催のウェビナーが大盛況

千葉県・埼玉県・茨城県の一部で毎週約200万部のフリーペーパー『ちいき新聞』を発行している株式会社地域新聞社（本社：千葉県八千代市、代表取締役社長：山田 旬）は、ライターを志す人たちへ向け、現役編集者がライティングのコツを伝授するウェビナーを無料で提供しております。これまで同ウェビナーは2回開催し、400名以上の方に参加いただいております。



#### 地域新聞社主催ウェビナーについて

当社ではこれまで、読者やクライアントを対象に様々なテーマでセミナーを実施してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大後は、会場に集まってもらってのセミナーが開催しづらくなったことから、インターネット上で配信するセミナーである「ウェビナー」を多数開催しております。

(過去開催ウェビナーの一例)

- ・老後の住まいとお金の話
- ・スキマ時間で健康とおこづかいが手に入る 配布のお仕事講座
- ・<脱・大掃除! ?>今すぐ実践できる 15分のお片付け&掃除術
- ・今さら聞けない! 簡単なチラシの作り方~制作手順とデザインのコツ~
- ・反響に大事なものは色だった! ?色のイメージと配色3つのコツ
- ・販促に重要な「消費者目線」の媒体選び~「読者モデル広告」の訴求効果
- ・自社のブランドがお客様に伝わる! 30分でわかる動画マーケティングのポイント

ウェビナーは専門性を持つ当社社員やクライアント、ラボママ(ちいき新聞読者コミュニティへの登録者)が講師をつとめ、「ちいき新聞」の紙面上やメルマガでの告知で参加者を募り、読者は暮らしに役立つ情報を、クライアントは販促に関わる様々なお得情報を無料で視聴することができます。

その中でも、ライターを志す人たちへ向け、当社の現役編集者がライティングのコツを伝授するウェビナーは非常に人気があり、過去2回の開催で400人以上の受講者が集まりました。講座内では、「商業媒体とSNSの違い」「取材の際に聞くべきこと」「原稿作成の際に気をつけるべきこと」などをお伝えしています。SNSの発達で個人が情報発信するハードルは非常に低くなり、「モノを書いてみたい」という人も増えてきていますが、プロとしてお金が発生する文章とSNSでの自由な発信には大きな違いがあります。実際に受講した方からは次のような感想をいただいています。

(受講後アンケートより) ※原文ママ

- ・記事を書くにあたって、記事を読む対象者や、何を求められているかを考えて取材、文章作成することの大切さがわかりました。
- ・前から文章を書くことに興味はありましたが、今一步踏み出せませんでした。良い機会を頂きました。文章力を磨く練習をしていきたいです。
- ・SNSで文章を発信することと、お金をいただいて文章を書くことの違いがよく分かりました。実際に取材に行ったら、というような実践的なお話を伺って大変興味深く、参考になりました。

### 受講者から「ちいき新聞」のライターも誕生!

当社には、各地域に生活している委託契約のライターが100名以上所属しており、そこで生活している人しか知りえないようなニッチなイベント情報や人物紹介の記事を多数作成していただいています。

4月にウェビナーを受講した方の中からも「ちいき新聞」のライターが誕生し、ペンネーム「ふらりん」さんとして現在既に4本の記事を執筆いただいています。

生の声で届けたい

# 大人のための朗読会 「もえぎ」

朗読の会「もえぎ」は、白井市文化センター図書館2階 研修室で、年に4回（3月・6月・9月・12月）、大人のための朗読会ライブを開催している。



もえぎの皆さん

子どもではなく大人向けの本を読むもえぎは、代表の佐藤さんを中心に、2010（平成22）年に10人のメンバーで発足。同年12月に初めての朗読会ライブを行った。白井市は大人のための朗読会がなく、大人向けの本を生む声で届けたいという思いがたいてい。

朗読スキルは図書館長のお墨付きメンバーは、白井市の広報を音訳するボランティア団体所属で、全員が20年以上



月に一度の定例会

大人のための朗読会 ※感染症の状況によっては日程変更あり  
日時 9月2日（金）午後1時30分～  
場 所 白井市文化センター図書館2階 研修室（千葉県白井市復興1148-8）  
料 金 入場無料  
問い合わせ 047(492)1122 白井市立図書館

動している。また、時期図書館の音訳協力者でもあった。図書館長の鎌田さんは、もえぎの朗読スキルを高く評価し、「語り部が読書や朗読をすることから始まり、本になつて、読書という形になつた。語りを聞くことは、読書の原点復帰ではないか。朗読会はその声なので、音の波動や語りかけてくるような指向性を感じる。コロナ禍でも朗読会開催を熱望している人が多

代物、贋物の他、な心かける。長いものは抜粋するが、音読だけでなく、作品の持ち味を生かすのに苦労している。抜粋の仕方、読み方、解釈など、お互いの朗読を聞き合い修正していく。時には切確な意見も出るが、切磋琢磨したからこそ、この12年経てられた。作選喜びもそれだけ。初めは取り組むジャンルなどもあり、今後やりがいや楽しさは尽きない。

図書館は、場内の提供、ホームページ掲載、朗読本の展示、当日の館内放送などで協力。利用者から、次の朗読会日程や、朗読を予定している本に関する貸し出しの問い合わせもあり好評。作選喜びに悩むも感想に喜び。

現在会員は6人。1回のライブで4人が朗読を行い、1人の持ち時間は15～20分程度。作品選びはとても難しく、エッセイ、短

コロナ以前は、プラネタリウムや老人会などとの出演依頼も受けていた。定期朗読会もコロナで中止していたが、再開後、多くの来場者が集まったことは、何よりの喜びだった。ライブ後に「過去の体験が思い出されて懐かしい」などの感想やリクエストをもらうことは楽しみであり、メンバーの励みでもある。（ふらりん）

## PN「ふらりん」さん作成の記事

### ■今後の展開

当社の強みは毎週約 200 万部を発行する「ちいき新聞」を中心とした配布インフラを持っていることです。今後は自社のリソースを活用したウェビナーに加え、「ウェビナーをやってみたいけれど、どうやって参加者を集めれば良いかわからない」というお悩みを持つ企業に集客から当日の運営までを提供するサービスにも力を入れ、「地域の人と人をつなぎ、あたたかい地域社会を創る」という当社ミッションを実現してまいります。

### ■会社概要

社名 : 株式会社地域新聞社  
所在地 : 〒276-0020 千葉県八千代市勝田台北 1-11-16 VH 勝田台ビル 5F  
代表者 : 代表取締役社長 山田 旬  
創業 : 1984年8月28日  
事業内容 : フリーペーパー発行事業、チラシ折込事業、販売促進総合支援事業、その他  
URL : <https://chiikinews.co.jp>

### 【本件に関するお問い合わせ】

株式会社地域新聞社  
担当 : 経営戦略室 高取 和弘

TEL : 047-485-1100

Mail : [k-takatori@chiikinews.co.jp](mailto:k-takatori@chiikinews.co.jp)